

分考通信

第四号
2017年8月
号文責
中伸一



COCO塾カフェをたずねて

COCO塾カフェは昨年「コミュニティバスに乗りよう」と云うことで花園から笠田・打田を回り花園に戻ってきた際に粉河に立ち寄りま

した。カフェの場所は見えていたのですが、営業していたので、営業された。5月の中頃にカフェの担当の先生から連絡を頂き急ぎよ実施することになりました。

森林ウォークは分校の名物授業で、二十年以上以上続いている一年生の総合学習の授業です。総合学習とは生徒が自発的に横断的・総合的な課題学習を行う時間です。インタビューアンケートを予定していましたが時間が足りませんでした。

ふれあいキャンプは相手団体の依頼により数年前からお手伝いに行くようになりました。

僕たち（本校生徒三人）は5月26日に粉河にあるCOCO塾カフェに行きました。

カフェは大きな古民家（山崎邸）にありました。中に入ると粉河高校の生徒がたくさんいました。とても賑やかで周りを見てみると勉強している人や友達とおしゃべりをしている人たちがいました。注文を取りに店員（粉河生徒）さんが来て、僕たちはメニューにのっているものをほとんど頼みました。10分くらい待っていると店員さんが持ってきてくれました。チーズケーキや揚げアイスなどおいしいものもたくさんありました。食べてみるとものすごくおいしかったです。生徒たちがこのカフェに来る理由がわかったような気がしました。このような施設があつたらいいなと思いました。

(S U)



ふれあいキャンプに参加して

7月17日スポーツパークでふれあいキャンプがありました。私はあまりボランテアに参加したことがなかったので少し不安でした。私の席には小さい子供を連れてお母さんと小学生ぐらいの男の子とそのお父さんが座りました。最初、会話ができるかどうか不安でしたが障がい者の子供とその家族の方はとても明るく話しかけてくれました。

「お肉焼いてばかりじゃなくて食べなよ」と言ってくれとても温く感じました。

次に流しそうめんをしたり、かき氷を作ったりしましたが、いずれも皆さん楽しそうにしてくれました。

今回のボランテアで障がい者の方と交流ができてよかったと思いました。また、これからも少しでも人の役に立てるようにがんばりたいと思いました。

(K O)



森林ウォークに参加して

ブナの木（冷帯の植物）が和歌山にあること知っていますか？ 京大の研究林を知っていますか？（私は昨年知りました）

場所は有田川町清水地区の京都大学フィールド科学教育研究センター和歌山研究林にあります。

有田清水分校1年生の総合学習に「森林ウォーク」という授業があります。高野龍神スカイライン沿いの標高千二百m位の白馬尾根を約2時間歩きます。今年は5月31日に実施され、研究林の先生に天然林のお話を聞きました。ヒメシヤラという木の表面がとても冷たく夏場の暑い時に触れると「ひんやり」として気持ちいいそうです。サロンの臭いがするミズメ。鹿も食べないアセビやシキミが下草のない所に残っていました。ウイスキー樽・高級材になるミズナラ等々、50種類位の植物の紹介がされました。中でも生徒三人が手をつないでやっと囲むことが出来るブナの木にはビックリしました。

お昼からセンター事務所で研究林の概要を聞きました。1925年（大正15年）にこの研究林が設置され、1955年（昭和30年）には清水町の人口が一万三千人いたそうです。設置がそんなに古く、今から60年前に清水にそんな人口がいたことに度ビックリしました。昭和30年この地区にその人口を養うだけの産業があつたのか不思議に思いながら聞いてみると、ミカン箱や魚のトロ箱などが木材で出来ていて、有田地方の需要にこの地区が応えていたそうです。その他にも産業があつたでしょうが、当時はこの人口を維持出来ていたようです。今、林業のあり方を見直し地域を盛り上げようとがんばっているお話でした。山の中で過ごした一日は心地よい疲れと同時にさわやかな一日でもありました。

(中)